

第6回食味会

11月7日(土)

米生産者が、食味向上の意識を持ち地域全体の底上げとなることや消費拡大を目的に、七城町産の新米「七城のこめ」の味比べを行いました。

特別栽培米部門と、その他栽培米部門の2部門に、生産者80人がエントリーし、食味計の数値に加え、食味鑑定士2人と一般参加者50人が味、香り、外觀などを審査しました。参加者は「どれもおいしくて分からない」など話しながら、難しい審査に頭を悩ませていました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

特別栽培米部門 最優秀賞 山下正行 (㊦ 加恵)

優秀賞 中島浩之 (㊦ 新古閑)

その他栽培米部門 最優秀賞 平田真佐光 (㊦ 高田) **優秀賞** 増永文應 (㊦ 西郷)



本選で審査をする一般参加者たち

「新たな西郷像を語る」講演会

11月15日(日)

西郷隆盛公研究の第一人者と言われる鹿児島市立西郷南洲顕彰館の高柳 毅館長を講師に迎え、七城公民館で「菊池源吾に学ぶ会」(園木 馨会長)主催の講演会が開催されました。

「新たな西郷像を語る」と題した講演会には、菊池市内外から約100人が訪れ、西郷隆盛公の人物像や大久保利光公との関わりについて熱心に耳を傾けていました。また、質疑応答では予定時刻を過ぎても質問が絶えないほどの盛況振りでした。

なお、「菊池源吾に学ぶ会」では随時会員を募集しています。詳しくは、「菊池源吾に学ぶ会」事務局(国際交流課)までお問い合わせください。



西郷南洲顕彰館の高柳 毅館長

くまもとふるさと食の名人

山口順子さん、川津悦子さんが、熊本県より平成21年度の「くまもとふるさと食の名人」に認定されました。山口さんは菊池市の新郷土料理「菊池どんぶり」の名人として、また川津さんは「馬肉のたたき」の名人として、それぞれ認定されました。

今後は、現在菊池市で活躍している10人の認定者に加わり、各種イベントや教育現場で、指導や協力をしながら、食文化の継承と食育、地産地消の推進活動を行います。



認定された山口順子さん(右)と川津悦子さん(左)

「くまもとふるさと食の名人」は、県の安全安心で新鮮な食材を活用し、地域の食文化を広く発信する活動を行う人々を、県が認定する制度です。

新郷土料理
「菊池どんぶり」
(左)と
「馬肉のたたき」
(右)



第5回泗水支部子ども会大会

11月8日(日)

菊池市子ども会泗水支部の子ども会大会(キックベースボール競技)が、泗水グラウンドで開催されました。高学年の部に13チーム、低学年の部に5チームが参加し、地域の皆さんの熱い声援を受け、子どもたちは元気に楽しくプレーしていました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)



高学年の部

優勝

富出分子ども会

準優勝

朝日団地子ども会



低学年の部

優勝

田島子ども会(バツツ)

準優勝

飛熊・北住吉子ども会

高学年の部優勝の富出分子ども会(写真上)と低学年の部優勝の田島子ども会(バツツ)(写真下)

ヤマメの稚魚を放流

11月25日(水)

菊池川漁業協同組合が、市内の菊池川や迫間川などの4河川でヤマメの稚魚の放流を行いました。この放流は、同組合が九州産廃(株)の協力をいただき、水環境の保全と魚種の保護などを目的として行っているもので、今回はヤマメの稚魚約200kg(5,714尾)が放流されました。菊池川の上流では、水源小学校(城 岳雄校長)の児童7人がヤマメの放流を手伝い、次々とヤマメを川へ放っていました。



放流する水源小学校の児童たち

七城小相撲クラブが大会初優勝

11月8日(日)

第26回熊本県選抜少年相撲大会が宇土市で開催され、七城小学校(亀井裕子校長)の相撲クラブが大会初優勝を飾りました。「6年生最後の大会に頑張ろう」を合言葉に、猛練習に励んだ子どもたちは、輩北トレジャークラブと対戦しました。

また、昨年12月には、大相撲の熊本場所に、力士とのかけ稽古にも招待され、そこでも頑張って練習していました。



初優勝した七城小相撲クラブの子どもたち

熊本県サッカーリーグU-15菊池・阿蘇地区大会

11月28日(土)

クレーージュ・リゾート熊本で、熊本県サッカーリーグU-15菊池・阿蘇地区大会の表彰式が行われ、泗水中学校サッカー部が第2位で表彰されました。菊池・阿蘇郡の中学校15校が参加した大会で第2位となった泗水中学校サッカー部は、熊本県リーグ入れ替えトーナメント戦への出場が決定しました。上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

優勝 武蔵ヶ丘A **第2位** 泗水中学校 **第3位** 大津北A



泗水中学校サッカー部のメンバー